

# 祝

## 全国大会出場 準決勝フルセット逆転勝利!

「平塚アリーナのコートはまたいい!」  
「全国大会に行きたい!」  
「私もメダルが欲しい!」

# 夕チスポ

橘高等学校定時制  
運動部通信  
2022.6.27  
第 111 号

キャプテンである3年B組村山有紗と副キャプテンの金澤萌美の2人が「今のチームは、うまくいってない」「ケガ人も多い」「このままでは勝てない」「どうしたらいいのかわからない」と課題を抱いていた。考え導き出した答えが「まず私たち二人が楽しもう!声を出そう!」であった。



石村桜 (三年)

強烈なブロッックや高い打点からのアタックは得点源



元気娘!  
プレーの成長度はチーム随一!

アタッカーとしてめざましい成長  
金澤萌美 (三年)

腰痛で練習に参加できなくても、進んで球拾いをしていた。家族の支えもあり、大会の三週間前にようやくチームに合流した。

そして大会当日、、、いきなり準決勝で、勝てば全国、負ければおしまい。試合は前年度3位の川崎高校、今年度新たに経験者も入部したという。



キャプテン 村山有紗 (三年)

唯一の経験者として  
チームの中心的存在!



遠藤琴美 (二年)

急成長! レシーブカアップ!



杉林愛美 (三年)

コツコツと自分のプレーを着実にものにしている



澤村亜蓮 (四年)

プレーへの情熱はチームを引っ張る!

姉貴的存在!

新しい部員も、声を出し合いチームを支えた。  
1週間前になってやっとチームがまとまってきた。



石村凜 (一年)

未経験者ながら3ヶ月で急上昇



高橋夢歩 (一年)

持ち前の明るさと頑張りで  
チームを支える

盛り上げていた。まだまだ上手にプレーできず、交代した後に涙を流す姿もあった。この経験は、今後くやしさをバネに大きく成長するだろう。第2セットを25-16で取り返し、勝負の第3セットは勢いそのままに川崎高校の攻撃を振り切り25-14で勝利し、4大会連続7回目の全国大会出場を決めた。

決勝は前年度と同じ清心女子高校と対戦だったが、惜敗した。7月の練習で彼女たちがどこまで伸びるか楽しみだ。バレーボール部顧問 松本 博臣

男子バレーボール部は  
昨年度準優勝の推薦枠にて  
8年連続、8回目の  
**全国大会出場**  
8月2~6日 ひらつかサン・ライフアリーナにて開催